

## NACCSの概要（NACCSとANIPASの変遷）

動物検疫所では、1997年（平成9年）に動物検疫の畜産物輸入検査申請手続の迅速化を図るため、動物検疫検査手続電算処理システム（ANIPAS：アニパス）を導入しました。その後、2回の大きなシステム更改（2002年（平成14年）：輸入畜産物以外の申請手続の電子化・オンライン化の実現、2008年（平成20年）：インターネットを介して動物検疫の手続を行えるWebシステムの導入）を行い、輸出入申請及び輸入に関する届出を電子的に受け付けることが可能となりました。

さらに、2013年（平成25年）10月には、ANIPASの機能を税関手続の電子システムである輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS：ナックス）と統合することにより、利用される方の更なる利便性の向上を図り、より便利になるように開発を行っておりますので、ぜひご活用いただけますようお願いいたします。

なお、NACCSは1978年に稼働を開始し、これまで以下のようなバージョンアップ、業務拡大を図ってきております。

